

# 尾道市実証実験サポート事業

プライバシーに配慮した見守りサービス事業

---

---

< 採択内容 >

経費支援あり

経費支援なし

採択された内容について、いずれかにチェックを入れてください。

富士通Japan 株式会社

---

# 1 会社概要

## 会社情報



- 商号 富士通 J a p a n 株式会社  
(Fujitsu Japan Limited)
- 代表者名 砂田 敬之 (すなだ のりゆき)
- 本社所在地 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
- ホームページ <https://www.fujitsu.com/jp/fjj/>
- 発足年月日 2020年10月 1日
- 設立年月日 1947年 4月23日
- 資本金 122億2,000万円
- 従業員数 11,600名

## 担当者情報

- 担当部署名 福山支店
- 担当者名 藤本 学
- 電話番号/FAX 084-923-7000 / 084-931-2331
- メールアドレス [fujimoto.manabu@jp.fujitsu.com](mailto:fujimoto.manabu@jp.fujitsu.com)

## 2 会社事業概要

### 事業内容

- 自治体、医療・教育機関、および民需分野のソリューション・S I、パッケージの開発から運用までの一貫したサービス提供
- A I やクラウドサービス、ローカル 5 Gなどを活用したD Xビジネスの推進

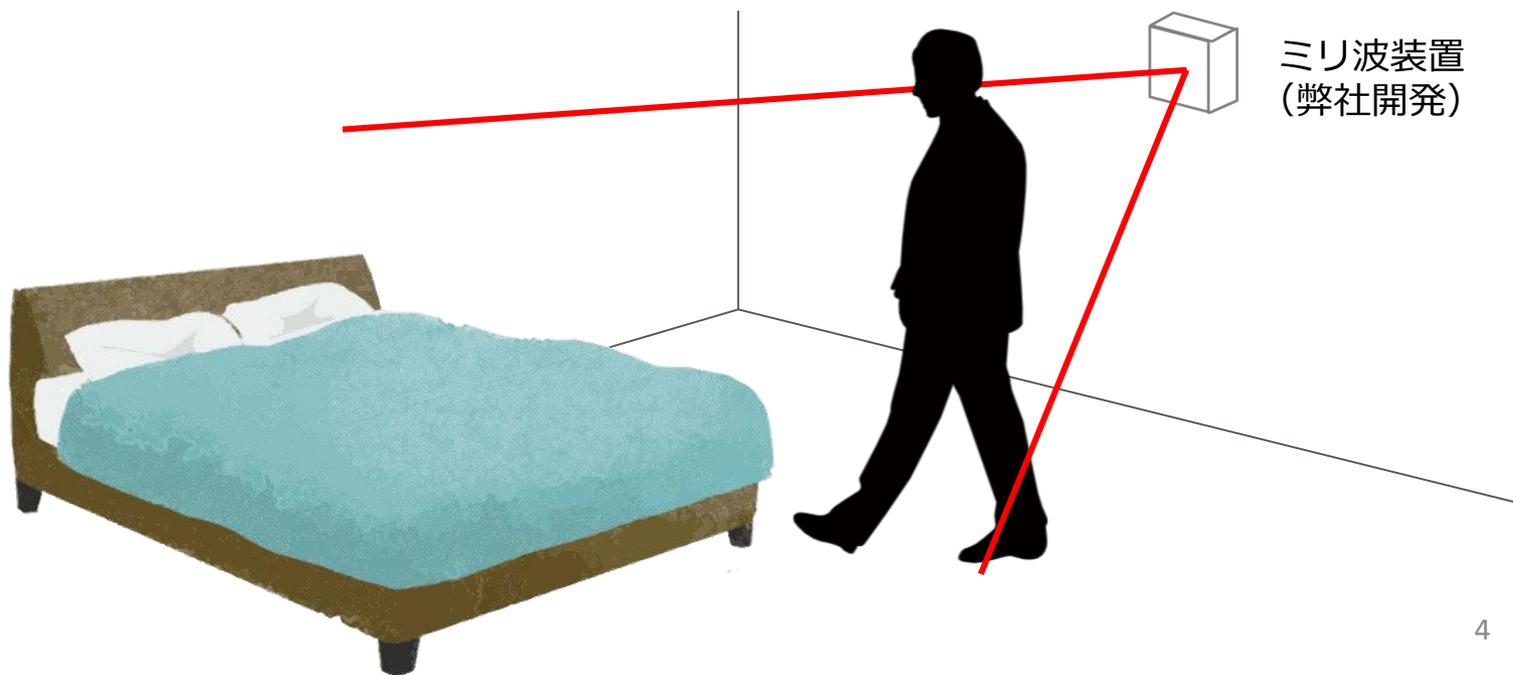
### 沿革

- 2020年10月  
富士通 J a p a n 株式会社発足  
株式会社富士通マーケティングと富士通エフ・アイ・ピー株式会社を統合し事業を開始。同時に富士通株式会社の民需分野の準大手、中堅・中小企業を担当するシステムエンジニアも合流。
- 2021年 4月  
富士通株式会社の自治体、医療・教育機関、地域農林水産機関および地域メディア向けのソリューションサービス・プロダクト関連事業と、株式会社富士通エフサス、富士通ネットワークソリューションズ株式会社の本事業領域におけるビジネスプロデュース機能、株式会社富士通新潟システムズ、株式会社富士通ワイエフシー株式会社、株式富士通山口情報、富士通エフ・オー・エム株式会社を統合。

### 3 提案事業のコンセプトと概要

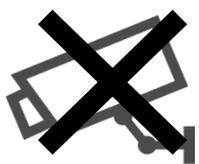
老人ホーム等の高齢者施設事業者向けに、  
**プライバシーに配慮した見守りサービス**を提供し、  
急病の早期発見、見守り要員の作業効率化に貢献します

低コストなミリ波装置を設置し、施設利用者の様子を自動見守り。  
転倒などの危険行動を自動的に検知します。



### 3 提案事業のコンセプトと概要

本サービスには、3つの特徴があります



#### 特徴① プライバシーに配慮

カメラ映像を使わない非接触センシング技術を使用するため、プライバシーに配慮し、暗闇にも影響を受けない見守りが可能です。



#### 特徴② 自動アラート

利用者の能動的な通報を待つ事なく、自動アラートが作動します。急病への早期対応や、見守り要員の効率化が実現出来ます。

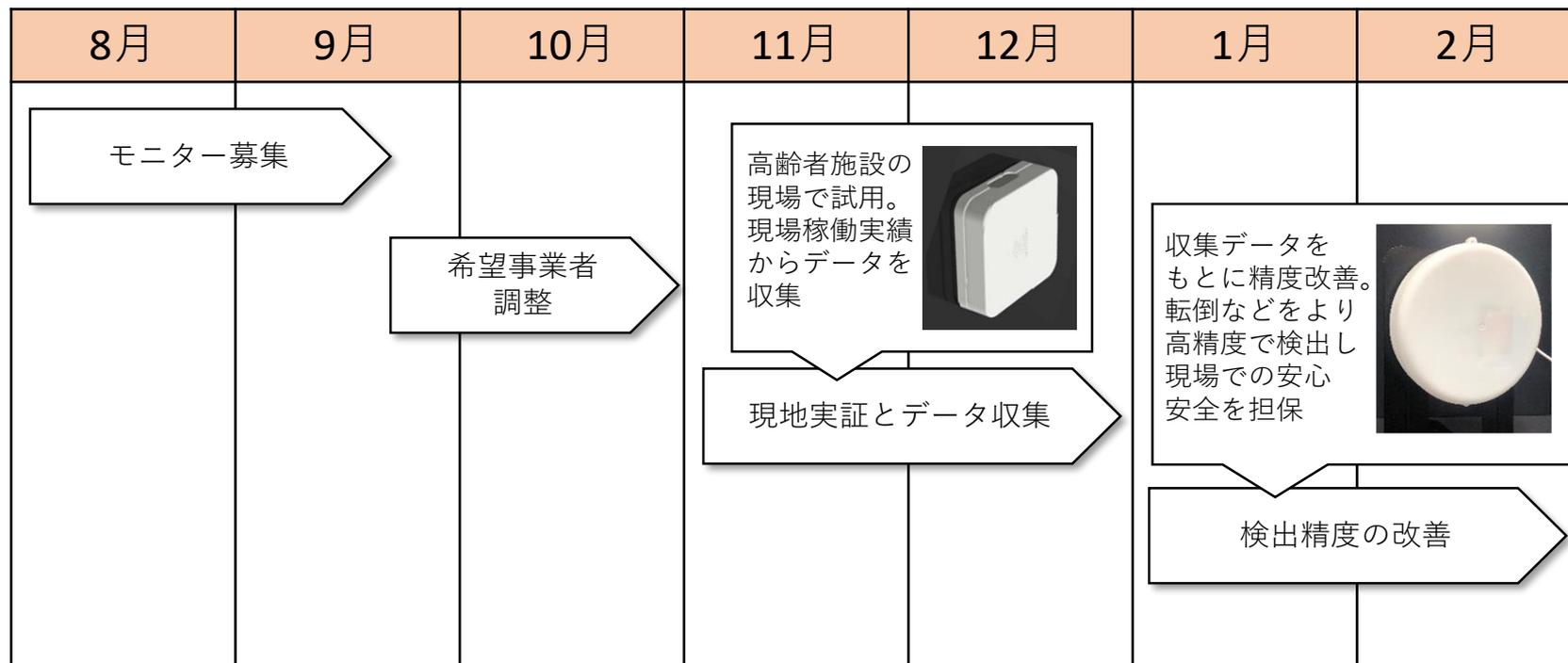


#### 特徴③ データ集計・分析

利用者の行動データを収集する事で、**当人の行動分析**や**利用者全体の統計分析**を実施出来ます。

# 4 事業の詳細

- 尾道市内の高齢者施設に、本サービスのモニターを募集
- 11～12月に応募いただいた高齢者施設に試験導入し精度調査
- 1～2月に試験結果から精度改善。改善された機器での再試験は蔓延防止法の観点から中止



# 5 事業の結果

## ■モニター

- ・ 特別養護老人ホーム、グループホームの事業者とサービス見守りに関する意見交換・検証を実施

### 【特別養護老人ホーム】

介護度の高い現場においては、ベッドから降りる素振りなどなど**事故につながる所作**を検出し、即通知してほしい  
転倒などの事故につながった場合には、その転倒が起こる**原因となった所作**などを確認したい

#### 弊社見解

弊社サービスは、転倒が発生した事実を確実に検出し通知することでの安全性を担保することを想定していた。今回の意見を受けて、人間の詳細な所作を検知し、未然に事故を防ぐ通知機能を将来的に追加展開することとした。

# 5 事業の結果

## ■モニター

### 【グループホーム】

実際の現場では転倒が発生していないが、転倒を検出する事例が複数回発生。また不在と在室をそれぞれ**誤って検出**する事例も発生した。こうした**誤検出を低減**しより確実に検出できるサービスとしてほしい。また装置を設置する位置や場所についてもバリエーションが欲しい

### 弊社見解

使用するベッドの高さによって、転倒検出範囲に入ってしまうケースを確認している。また、不在・在室は壁を透過して外を通る人を検出したり、カーテンなどの移動する物体を検出するケースを確認した。

現場に合わせた高さ調整、人を検出するアルゴリズムなどを実証結果分析から修正しより精度の高い機能の実装へと修正を行った

参考) 検証後データを反映した後の精度 (別検証環境における転倒誤検知率)

No	修正前誤検知率	修正後誤検知率
検証環境 1	27%	0.1%
検証環境 2	0.1%	0%
検証環境 3	10%	0.1%
検証環境 4	15%	0.1%

# 5 事業の結果

## ■まとめ

- 見守りサービスを検討している実環境の事業者様との意見交換、装置の試用による実際の現場でのデータ収集を実施
  - より安心・安全を担保できる見守りサービスに向けた貴重なご意見をいただきサービス内容、必要な技術検証と機会をいただいた
  - 検証環境ではなく実際の現場でのデータを分析することにより、高精度な転倒検出、通知を行える改善が可能となった

## ■今後の展望

- 日本の介護現場での転倒検出精度の改善を継続して行い、2022年にサービス化を計画。介護現場の負荷軽減、安心安全の提供を目指す